



つくば市議会だより

SUKUBA-28

12月定例会議 No.185

令和7年(2025年)3月1日発行
発行：つくば市議会
編集：広報広聴委員会

一般質問	P 2～7
委員会審査	P 8～9
議決結果・賛否一覧	P10
11月緊急会議・特集	P11
特集	P12

議会をもっと知りたくなる情報紙



全議員登場！

R6年度議会報告会



つくば市議会 YouTube チャンネル

令和6年度議会報告会動画を
投稿しました。
詳細は右記 QR コードから！



チャンネル
登録お願
い
します

令和6年第1回定例会 会期日程

令和6年4月19日から令和6年11月29日

★11月緊急会議ハイライト

議案審議 議案3件を審議

令和6年第2回定例会 会期日程

令和6年12月5日から令和7年3月27日

★12月定例会議ハイライト

一般質問 24名の議員が白熱の議論を展開
議案審議 議案など31件、請願5件
意見書案2件を審議

2月定例会議開催予定

- 2月 13日(木) 議案上程
- 27日(木) 会派代表質問
- 28日(金) 一般質問
- 3月 3日(月) 一般質問
- 4日(火) 一般質問
- 5日(水) 一般質問・総括質疑
- 6日(木) 予算決算委員会(総務文教・福祉保健)
総務文教委員会・福祉保健委員会
- 7日(金) 予算決算委員会(市民経済・都市建設)
市民経済委員会・都市建設委員会
- 10日(月) 予算決算委員会(総務文教・福祉保健)
総務文教委員会・福祉保健委員会
- 11日(火) 予算決算委員会(市民経済・都市建設)
市民経済委員会・都市建設委員会
- 19日(水) 予算決算委員会
- 25日(木) 討論・採決・散会



つくば市議会だよりが
スマートフォンで読めます
マチイロ





ひぐち ゆうだい
樋口 裕大 議員

(Next つくば)



■ 今回の選挙における開票作業について

(質問) 急きょ衆議院選挙と市長、市議会議員選挙のトリプル選挙となったが、開票作業について伺う。

(答弁) 10月27日執行の選挙における開票については、衆議院小選挙区選出議員選挙が10月28日午前2時11分に確定し、衆議院比例代表選出議員選挙が同日午前3時40分、最高裁判所裁判官国民審査が同日午前2時51分、つくば市長選挙が同日6時5分、つくば市議会議員一般選挙が同日午前9時41分に確定となった。

(要望) 開票時間にかかる時間短縮の取り組みとして、投票を現在の投票用紙への記入式から、タブレット端末を使った電子式投票へ変えることを提案する。開票に要する時間を大幅に短縮できるだけでなく、何らかの理由で代理投票を利用していた方も鉛筆を持つ必要がないため、選挙における事務負担軽減にも繋がる。



このほか、保育園の入所基準、小中学校の学習用端末(タブレット)、年収の壁の引き上げについて質問した。



こくほ たかし
小久保 貴史 議員

(つくばクラブ)



■ 米の価格高騰と転作について

(質問) 米価が上昇し、今後の転作関連作物の内容が変貌し、価格や農地賃貸バランスが大きく崩れることを懸念している。米価安定対策である転作作物の作付状況と、今後の作付推進に向けた転作関連の作物の補助支援について伺う。

(答弁) 令和6年度の主な転作作物の作付状況については、飼料用米が912.1ha、麦・大豆が107.7ha、輸出用米が48.0haなど、合計1,155.2haで作付けが行われており、市内の水田面積4,830.6haのうち約24%となっている。今後も、米価の安定を図るため、米の生産調整を推進し、転作作物として麦・大豆など畑作物の支援を強化していく。

(要望) 転作団地化助成金による支援内容の見直しや畑作物の補助拡充や農地賃貸モデルの基本ベースを提示することなどを要望する。



このほか、田んぼダムの取組み、筑波山ゲートパークの利用状況と周辺整備、入札不調や契約変更の対応、複数年業務委託について質問した。



かわくぼ みなみ
川久保 皆実 議員

(つくばチェンジチャレンジ)



■ 市民が気軽に通報できるシステムの実現を!

(質問) 『市長公約事業のロードマップ2020-2024』のうち「道路破損などの気づきを気軽に通報できる双方向のシステムを導入」という公約はいまだに実現していない。いつまでに市民が同システムを利用可能となる予定かを伺う。

(答弁) 市民の気づきを気軽に通報できる双方向のシステムについては、写真や位置情報、現地の状況をつくスマから通報できるよう準備中である。通報内容や通報への対応、システムの運用方法など、準備が整ったものから、順次、市民利用を開始する。令和6年度中には、点灯していない街路灯に関する情報など、一部の市民利用を開始する。道路破損については、遅くとも令和7年度中には市民が通報できるようにする。

(質問) 道路や公園におけるごみの放置、樹木の倒木・落枝の危険性、およびベンチや遊具などの老朽化・破損についても通報できるようにすると良いと考えるが、市の見解を伺う。

(答弁) 道路・公園のごみの放置、倒木や落枝の危険性、ベンチや遊具の老朽化・破損の通報について、システムの対象にすることは可能である。守谷市のアプリ「Morinfo(もりんふお)」や日立市のアプリ「ひたちナビ」など、他自治体の事例も参考にしながら、庁内で検討を進め、遅くとも令和7年度中には市民利用を開始したいと考えている。

このほか、親子連れ投票の推進、障がい者関連施策、公立保育所の午睡時間、東関東大会への出場補助金の交付および公園における倒木・落枝事故の防止などについて質問した。



きむら しゅうじ
木村 修寿 議員

(Next つくば)



■ つくばスマートICについて

(質問) (仮称)つくばスマートICは、平成29年7月21日に新規事業化として決定され、その後、用地買収などを行い、NEXCO東日本と連携して供用開始に向けて整備をおこなってきたところである。現在の進捗状況を伺う。

(答弁) (仮称)つくばスマートICは、NEXCO東日本によって舗装および施設関連工事が行われている。また、市が整備主体の交差点改良工事は、一般県道土浦坂東線側が令和6年2月に、主要地方道つくば真岡線側が令和6年8月に竣工し、現在、案内標識の設置工事を実施中である。早期開通に向け、引き続きNEXCO東日本と連携を図る。

(質問) 案内標識の設置工事を実施中とのことで、供用開始に向けた最終段階の整備状況であると思うが、開通時期の見通しとICの正式名称などについて伺う。

(答弁) 開通時期の見通しについては、NEXCO東日本によると、現在の工事の進捗状況を踏まえ令和7年春の開通を目指しているとのことである。また、名称については、(仮称)つくばスマートインターチェンジ地区協議会で検討を行い、道路標識適正化委員会の意見を踏まえ決定された名称原案を基に、所定の手続きを経て「つくば西スマートインターチェンジ」に決定した。

(要望) NEXCO東日本と早期開通に向け、連携を図っていただくようお願いする。

このほか、国道125号バイパスの整備促進、地産地消「Farm to Table つくば」、空家バンク制度や空家活用補助金について質問した。



やまなか まゆみ
山中 真弓 議員

(日本共産党つくば)



つくば市 水道事業の広域連携に不参加を表明

(質問) 県が進める水道事業の広域連携(1県1水道)は、つくば市にはデメリットしかないため参加すべきでないと、私は繰り返し訴えてきた。県がこれまで行ってきた説明や経緯を伺う。

(答弁) 茨城県は、「1県1水道」方針を掲げ、人口減少に伴う給水収益の減少や施設の老朽化、浄水場などの集約化、水道担当職員の減少などの課題解決を目指して広域連携を推進している。令和4年度に茨城県と県内全市町村で研究会が設置され、さらに令和5年10月に検討・調整会議が設置された。しかし、つくば市は集約化できる浄水施設がなく、給水収益も安定し、料金水準も県平均より低いことなどから、広域連携によるメリットは小さいと判断している。

(質問) 政府も能登半島地震を受け、分散型水源や井戸などの代替水源の確保を打ちだしている。広域連携に参加すれば予算配分の権限も県に委ねられ、市が進める未整備地域への管路整備の遅れや将来的な料金値上げも懸念される。つくば市はどのような態度をとるつもりか。

(答弁) 広域連携についてはデメリットがメリットを上回っていると判断しており、参加するつもりはない。

このほか、給食費無償化、子どもの医療費窓口負担ゼロを行う考え、下水道料金値上げ、社会福祉課の不適切な事務にかかる問題について質問した。



いとう ふみや
伊藤 文弥 議員

(つくばクラブ)



スクールカウンセラーの利用向上を!

(質問) スクールカウンセラーの稼働状況について、相談枠の利用率、待機状況などを伺う。また、時間や場所の制約を受けずに相談支援を受けられる体制整備のため、土日相談およびオンライン相談実施の可能性について伺う。

(答弁) スクールカウンセラー全員の勤務時間と相談件数、それぞれの合計の月平均は925時間、547件である。相談時間は1件当たり40分から1時間であり、勤務時間の約半分が相談時間となっている。相談業務以外の時間は、支援を要する児童生徒のケース会議や教職員への研修、教室の巡回などの業務を配置校の実情に応じて行っており、かなり過密な勤務状況にある。相談者の待機状況は、学校により異なるが、相談日程を柔軟に調整し、対応が遅れが出ないように努めており、現状は問題ないと認識している。現状の勤務形態については、平日対応で雇用していることから、土日の相談を実現するためには休日勤務対応の雇用や相談場所などの見直しが必要になる。現段階では、スクールカウンセラーを増員し、各校に1名配置し、平日のカウンセリングが円滑にできる体制を整えることが優先事項だと考えている。オンラインカウンセリングについては、新型コロナウイルス感染症流行時に実施したこともあるが、対面と比べ得られる情報が限られることや、切迫した状況への対応が難しいといったデメリットもあることから、児童生徒にとって必要と判断した場合に限って実施している。

このほか、不登校児童生徒保護者の補助制度や、カスタマーハラスメント対策について質問した。



しのうち さちよ
篠内 幸代 議員

(公明党つくば)



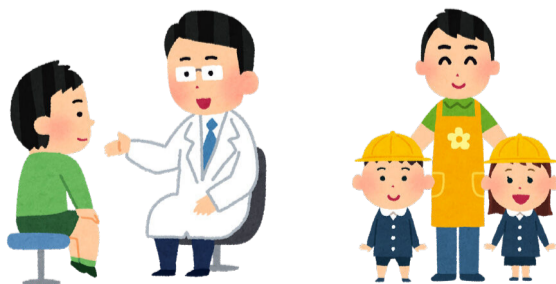
つくば市での5歳児健診の導入について

(質問) 落ち着きがない、周囲とうまく関われないなどの発達の特徴を持つ子どもたちは、小学校への就学後に環境に適応できず、不登校につながることもある。こども家庭庁は2028年度までに発達障害の早期発見、早期支援につなげる5歳児健診の100%の実施率を目指している。つくば市における5歳児健診の導入について伺う。

(答弁) 5歳児健診の導入については、令和6年度に庁内職員による「5歳児健診ワーキングチーム」を設置し、令和7年度にかけてつくば市医師会と協議しながら、実施方法や周知方法、フォローアップ体制について検討し、令和8年度実施に向けて準備を進めていく。

(質問) 健診の際、実施方法、質問事項はどうするのか伺う。

(答弁) 5歳児健診の実施方法などの詳細については、5歳児健診ワーキングチームを中心に検討することになるが、国が作成したマニュアルや他自治体の実施状況も参考にしながら進めていく。



このほか、ペットボトルキャップのリサイクル、アピアランスケアについて質問した。



わたなべ みねこ
渡辺 峰子 議員

(公明党つくば)



災害用井戸の活用について

(質問) 災害時には断水により、飲料水、生活用水などが不足する恐れがあり、代替水源としての井戸の活用は有効的な手段の一つである。国土交通省では、「令和6年能登半島地震 緊急水源としての地下水活用事例」として民間や家庭用井戸水活用の報告がある。①災害用井戸の活用について伺う。②災害時協力井戸登録制度の導入の考えについて伺う。

(答弁) ①災害時に断水が発生した際は、断水している地域に近い緊急用貯水槽や災害用井戸などを活用して市民への給水を実施するほか、状況に応じて給水車による給水活動も行う。給水を実施する場所や日時については、市HPやSNS、登録制メールサービス、つくスマアプリなどにより幅広く周知する。災害用井戸については、給水の対象となる地域範囲を特定しておらず、給水人口や給水量に制限も設けていない。②災害時協力井戸登録制度については、住民同士の助け合いを促す制度として、個人や事業者などが有する井戸の水を近隣の住民に提供していただくものであり、断水時に住民が生活用水を確保するための備えの一つとして有効であると考えている。このため、既に制度を導入している自治体の事例などを参考にしながら、導入に向けて検討する。

このほか、学校施設の老朽化対策・防災機能強化の推進、荃崎地区の課題(空き家の現状と対策、アクセス向上)について質問した。



しおた ひさし
塩田 尚 議員

(つくばクラブ)



子育て支援のさらなる拡充について

(質問) つくば市は保育園待機児童ゼロを目指し、これを実施した。TX 沿線開発地区を中心に新規の保育園建設を積極的に推し進めて来た成果だと高く評価している。一方で保育園の数が増えたため保育士不足に悩む保育園が多い。市が主催して、保育士合同就職会を開催する考えについて伺う。

(答弁) 保育士確保に向け、令和 7 年度以降、保育士養成校と協力した保育士合同就職説明会を検討していく。民間保育園と合同で行う就職説明会を保育士養成校で実施することにより、その学校の学生の参加を見込むことができる。さらに説明会を広く周知することにより、潜在保育士などの一般の市民の参加も促していきたいと考えている。

(質問) 既存の保育園では園児の定員割れも進んでいる。駅に近い所に市が保育送迎ステーションを作り、少し離れた所へも通園できるサービスを始める考えについて市長の見解を伺う。

(答弁) 保育送迎ステーションは可能性が高いと感じており、実現を目指し調査検討を進めてきたが、定員割れをしている保育所は駅から遠い保育所が多く、低年齢児より 4、5 歳の定員割れが多い。一方で、つくば市で問題になっている待機児童は低年齢児が多く、駅まで連れて来るとバスで長時間乗せることになり、成長に悪影響を及ぼす可能性がある。また、発熱時に保護者が迎えに行くことも難しい。これらの課題を考慮すると、広い面積を持つつくば市では導入が難しい。しかし、リソースの最適化という観点では優れたシステムであり、引き続き調査して可能な形を模索していくが、まずは保育士を充足させ、既存の園での保育環境の充実に注力していきたい。



うめざわ たかのぶ
梅沢 尊信 議員

(公明党つくば)



移動支援ボランティアの育成について

(質問) 高齢者の方々に話を聞くと「食べ物くらいは自分で買いたい」、「友人の顔を見に行きたい」と話す方が多くいらっしゃる。高齢化社会が加速する中で外出支援を図ることは、人として生きがいを守ることであり、そして、介護予防の観点からも重要なことと考える。そのような観点から、移動支援ボランティアの育成について伺う。

(答弁) 福祉有償運送事業者への支援については、運営を維持するための経費として利用回数 1 回を 1 人とした年間の延べ人数による上限 30 万円の補助のほか、運転者講習会などの受講料、事業者が加入しているボランティア保険料を対象に補助金を交付している。また、福祉有償運送事業者の抱える課題として、運転者の高齢化などによる担い手が不足していることなどが挙げられる。そのため市では、令和 5 年度から福祉有償運送の運転者になるために必要な国土交通大臣認定の運転者講習会を開催している。今後も引き続き、福祉有償運送や移動支援に興味を持っている市民が実際に支援を始めるための一助として、事業を継続していく。



このほか、公共交通の運転者不足をめぐる対応、10 月 27 日つくば市長・市議選の投票について質問した。



いちはら たくみ
市原 琢己 議員

(Next つくば)



洞峰公園の維持管理費に新規で約 4 億円！

(質問) 洞峰公園は先日発売された『地球の歩き方 茨城』でもつくばの観光名所に位置付けられている。令和 6 年 2 月 1 日から市営となった。以下 3 点について伺う。①洞峰公園の駐車場を増やす計画について②園内の清掃活動について県営の頃と比べ変化はあるのか③令和 6 年度当初予算で「洞峰公園維持管理事業」に 3 億 8,733 万 8 千円が新規でかかっている。移譲の際に県と維持管理費に関しての交渉を市長は行ったか。

(答弁) ①洞峰公園の駐車場は、北側 160 台、南側 172 台で、増設計画はないが、利用状況を調査し課題などを整理する。増設には、樹木の伐採が必要な可能性もあるため、協議会で利用者の意見を聞きながら検討する。②洞峰公園内の清掃は、茨城県から移管後も従来と同じ管理基準で除草や清掃などを実施している。豊かな自然環境や希少生物を守るため、専門家に確認を取りながら適切に管理している。③移管に際し、修繕が必要な箇所は茨城県が修繕を実施した。なお、移管については、魅力的な環境を未来に引き継ぐために移管を受ける判断をした。令和 6 年度の洞峰公園の維持管理予算は、3 億 8,733 万 8,000 円で、施設利用料などとして 2 億 2,280 万円の歳入を見込んでいることから、市の支出額は 1 億 5,905 万 8,000 円である。県とは常に必要に応じて必要な交渉を行ってきた。

このほか、1 期 2000 万、3 期 6000 万の廃止を公約として掲げたつくば市長の 2 期目の退職金を決めるインターネット投票の実施について質問した。



ごとう やすまさ
五頭 泰誠 議員

(つくばクラブ)



救急搬送の選定療養費の徴収について

(質問) 救急搬送の選定療養費の徴収が、本来の医療機関の相互分担、機能連携の強化を促進する大きなきっかけにならないといけない。一方で、最初は現場で混乱が生じる懸念もある。選定療養費について伺う。

(答弁) 選定療養費については、健康保険法改正により、平成 28 年 4 月から紹介状を持たずに一般病床数 200 床以上の病院を初診で受診する場合に患者から徴収が義務化されていたもので、救急車で搬送された患者は対象外とされていた。救急車で搬送された際の選定療養費は、入院の有無や軽症かどうかではなく、救急車要請時の緊急性が認められない場合に、搬送先病院の医師の判断により徴収される。選定療養費や救急電話相談については、茨城県やつくば市の HP で周知している。

(要望) 市民が 119 番通報の線引きをするのが難しくなり、通報をためらう人が出てくる懸念がある。救急搬送の有料化ではないという正確な情報を市民に伝えることや、市民の不安材料を取り払うような消防行政としての対応を要望する。



このほか、市長選挙、市議会議員選挙、国政選挙について質問した。



いいおか ひろゆき
飯岡 宏之 議員

(Next つくば)



県立高校の教室数増設ではなく誘致を！

(質問) 市民からも、市内に県立高校の早期設置の要望が出されている。並木高校が中高一貫になってしまったため、中堅の学力を持つ生徒が市外の高校へ行かざるを得ない状況である。仮に竹園高校の教室数を 2 クラス増設した場合、果たして皆が竹園高校を受験するのか？現実的に求められている高校について考えないで、竹園高校の教室数を増やせばよいというのではあまり意味がない。市の見解を伺う。

(答弁) 竹園高校の教室を増設する理由は、新設より時間と費用が抑えられ、急増する生徒への対応が効果的なためである。また、市内の県立高校での定員増により、一部の生徒が通学可能となり、近隣の県立高校の受入れ枠も増える連鎖効果が期待されると考える。高校誘致については、平成 29 年度から要望書により県に要望し、令和 6 年度も市長が知事に重点要望として早期設置と定員増を要望した。引き続き県と連携し、進学環境の充実を目指す。



このほか、周辺地域で歩いて 15 分で日常生活がかなう「15 分都市」、保育士の確保について質問した。



かわむら なおこ
川村 直子 議員

(つくば・市民ネットワーク)



同性カップルも暮らしやすい施策を！

(質問) 県の同性パートナーシップ制度に加え、市においてファミリーシップ制度を実施する考えを伺う。

(答弁) 性的少数者が暮らしやすい環境づくりに向けた施策の検討を行う中で、県のパートナーシップ制度がカバーしていないパートナーシップを締結した 2 者の子どもや親も含めたファミリーシップ制度の導入に向けた検討を始めた。現在、他自治体の事例を参考に、パートナーシップとファミリーシップ制度の導入に向け、制度の対象となる範囲、申請要件、申請方法など検討事項の整理などに取り組んでいる。パートナーだけではなく家族としてのつながりを実感できるということなどを、ファミリーシップ制度を導入している自治体の首長からも話を聞いているため、しっかりと実現をしていきたいと考えている。

(質問) 同性カップルにも事実婚と同様な「夫(未届)」「妻(未届)」の住民票表記を行う考えを伺う。

(答弁) 同性カップルの住民票の続柄の表記は、現在つくば市では同居人と記載している。今後、同性カップルが準婚と同様に、各種社会保障制度の面で、法律上の夫婦と同じ取扱いを受けられるよう変更された場合に、制度運営の実態に即して公証すべき続柄の記載の在り方を検討するという国の動向を注視しながら、市として、具体的にどうすることが可能かをより踏み込んで検討していく。

(要望) 住民票の表記は市町村で決めるもので、国の関与は助言にとどまる。同性婚が実現していない現状だが、多くの自治体の取り組みが国の制度を変えることがある。ぜひつくば市も先駆的に取り組み、国を動かす力の 1 つになってほしい。



たしろ ゆう
田代 優 議員

(Next つくば)



病児保育について

(質問) 子どもが 37.5 度以上の熱を出すと保育所に預かってもらえない。また、保育所からお迎えに来てくださるとの連絡が入る。しかしながら、母親がどうしても休まざるを得ない状況では、病児、病後児保育施設は不可欠だが、なかなか市民の方々が利用したくてもできない状況である。令和 5 年 9 月の定例会にて、病児保育施設の空き状況の公開は必要であるとの答弁があったが、今後のシステム導入による公開はどのように進んでいるのか伺う。

(答弁) 病児・病後児保育の予約システム導入を検討してきたが、事業の特性上、利用者確認が複雑で、事業者から導入を望まない声が多かったため、導入を見送る方針となった。



あさの えくこ 議員

(つくば・市民ネットワーク)



すべての人に市の情報が届くために

(質問) さまざまな障害を持つ人に確実に情報を届けるためにつくば市で進められている(仮称)「情報コミュニケーション条例」の策定の時期、また策定に伴い実施される政策について伺う。

(答弁) 令和 7 年 2 月にパブリックコメントを実施し、令和 7 年度 6 月議会に提出する予定である。条例策定により推進を予定している施策については、高齢者施設で生活する聴覚障害者などに対し、遠隔手話サービスの活用を進めること、希望する視覚障害者に点字をつけた封書などを発送すること、また、市民に対して講演会などを実施し、障害者の情報取得・利用や意思疎通の重要性を周知啓発することなどを障害者などの意見を聞きながら進めていく。

(質問) 職務分掌への書き込みを含め、全庁的にどのように情報保障を行なっていくかについての市長の考えを伺う。

(答弁) 情報保障は福祉部だけの話ではないと考えており、つくスマなどのアプリについても、本来率先して対応すべきものであると思う。各部門が当事者意識を持ち、当事者と対話をしていく、その入り口になるのは福祉部だが、福祉部門だけが障害分野を扱うということは全くなく、改めて全庁にその意識を周知する。分掌に書くかどうかは、次の議論になると思うが、まずは、早急に改めるべき点を改め、周知をした上で庁内の在り方を検討していきたいと考えている。

(要望) つくば市が採用している「つくスマ」「さんあ〜る」「スクリレ」などのアプリの音声対応を進めることを要望する。

このほか、つくば市公共施設バリアフリー化整備方針、児童の放課後の過ごし方について質問した。



こもりや
小森谷 さやか 議員

(つくば・市民ネットワーク)



つくタク値上げ、ちょっと待った！

(質問) 来年度からつくタク予約システムの変更とともに利用料金改定について検討されているが、300 円から 1000 円（高齢者や障害者、妊産婦は半額）と、一気に 3 倍以上の値上げ案となっている。運賃を 1,000 円に値上げする根拠について伺う。

(答弁) つくタクの運賃を 1,000 円に値上げする根拠については、令和 5 年度に無作為抽出した市民 3,000 人を対象に実施したアンケートにおいて、回答者の約 6 割が 500 円以上の運賃を許容したことによる。実際の利用者の約 9 割が割引制度の対象となる高齢者および障害者であることから、地区内基本運賃を 1,000 円、各種割引適用後の運賃を 500 円とする案を運賃分科会に諮ることが令和 6 年度第 3 回つくば市公共交通活性化協議会において承認された。今後、運賃改定案の可否を道路運送法に基づく運賃分科会で審議し、結果を令和 7 年 1 月開催予定の第 4 回つくば市公共交通活性化協議会で報告する予定である。

(要望) アンケートの設問の立て方と結果解析の手法に問題がある。また、値上げ案を決定する前に利用者アンケートを取っていないことに大きな疑問を感じる。今回の値上げは見送って、AI オンデマンドシステム導入後の動向を見てから再検討することを要望する。

このほか、生物多様性つくば戦略の策定状況、教育分野における脱デジタルの動きについて質問した。



きむら きよたか
木村 清隆 議員

(つくばクラブ)



人生 100 年に対する定年後について

(質問) 人生 100 年時代といわれ、人生 80 年時代から老後が 20 年延びている。市民の定年後の生き方に対する市の取り組みに関して、①生涯学習②地域社会との関わり③学校における高齢者との関わり④健康管理⑤シニアの方が仕事に就き収入を得る支援について伺う。

(答弁) 生涯学習では、知識や技能を高めるだけでなく、学びを通じて市民が繋がり、学び合う好循環を生むことが重要である。その点で、定年を迎えた方が地域社会との関係を深められる仕組みが必要だと考えている。そこで、社会力を育成し地域社会で活躍できるようになる講座の開催などに取り組んでいる。学校での高齢者との関わりについては、読み聞かせや登下校のボランティアに参加いただいている。授業では高齢者を招聘し、豊かな経験や知識を児童生徒に伝えるなど、学習支援に協力いただいている。健康管理については、生活習慣病の重症化を防ぐため、40 歳代から健診結果の重症度ごとに指導を行っている。さらに、健康な状態と要介護状態の間であるフレイルの予防として、出前運動教室や、低栄養を防ぐための調理講習会などを実施している。シニアの方が仕事に就いて収入を得る支援については、シニア求職者向けに茨城県と共同で就職セミナーや就職面接会を開催している。一方、シニア活躍の受皿を拡大していくため、市内企業向けに人材獲得セミナーを令和 7 年 3 月に実施する予定である。

(要望) より生きがいを高めるために、企業団体などへの生涯学習・生涯健康に向けた啓発推進、スポーツ協会・文化協会・シルバー関係団体予算の増額を要望する。



かわだ あおる
川田 青星 議員

(つくば・市民ネットワーク)



闇バイトの加害者を生まないための取り組みについて

(質問) 近年、犯罪行為によって報酬を受け取る「闇バイト」が社会問題となっている。加害者を生まないための市の取り組みについて伺う。

(答弁) 闇バイトを生まないための学校での取り組みについては、茨城県警察本部が作成した「闇バイトに関わらないために」などの資料を用いて、児童生徒への注意喚起と指導の徹底を市内全校に通知している。児童生徒が闇バイトに接触する一番の要因として、インターネットや SNS の急速な普及もあることから、学級活動やつくばスタイル科において、発達段階に応じた情報リテラシー教育を計画的に実施している。このほか、インターネット社会を生きる児童生徒が、犯罪の加害者にも被害者にもならないよう、各学校が茨城県メディア教育指導員や通信事業者、さらにはつくば警察署などの専門家との連携を図り、授業や講演会などを行っている。

(質問) 闇バイトにテーマを絞った講演会は行っているか。

(答弁) 闇バイトにテーマを絞った講演会は行っていないが、今後、闇バイトについても取り上げ、SNS などが急速に普及したインターネット社会では、闇バイトをはじめとする犯罪が常に隣り合わせであることをしっかりと指導することが必要だと考えている。

(要望) 生徒に実態を知ってもらうためにも、テーマを絞った講演会の積極的な開催や、道徳の時間を使った闇バイト防止の教育を要望する。闇バイトは単なるバイトではなく犯罪行為。子どもが不安を感じない環境整備、情報教育の更なる充実を求める。

このほか、投票権の保障、公園不足の問題について質問した。



勝手につくば大使
小村 政文 議員

(つくばクラブ)



消防団の準中型免許取得を補助して！

(質問) ①消防団員の確保の課題②運転免許証の制度とポンプ車の運転に関する処遇改善の取り組み③消防団の活動の現状について伺う。

(答弁) ①団員確保の取り組みとして、団員募集の案内を市広報紙、区会回覧、市 HP へ掲載しているほか、国が作成したポスターの掲示やステッカーを消防団車両に貼付するなど、随時募集活動を行っている。また、団員に支払われる消防団員報酬を個人支給にしたほか、休団制度を導入して家庭や仕事の事情に配慮するなどの処遇改善により、徐々に新入団員も増加傾向にある。②平成 29 年 3 月の道路交通法改正により、それ以降に取得した普通自動車免許では車両総重量 3.5t 以上の消防団車両を運転できず、準中型免許の取得が必要になる。この状況を踏まえ、消防団員の免許保有状況調査を実施し、3.5t 未満の車両の導入を順次進めている。また、消防団員が準中型免許を取得する際の負担軽減のための補助制度の導入に向けた制度設計を進めている。③ポンプ操法大会については、大会の訓練が夜間や休日に行われ、負担を感じる団員が少なくないことを理解している。この状況を踏まえ、主催者である茨城県消防協会が大会の今後の在り方を検討している。つくば市としては、県消防協会の動向を注視しながら、近隣自治体とも足並みをそろえ対応していく。また、団員の火災防御技術向上のため、団員の意見も聞きながら、各支団で実践的な訓練を実施し、つくば市消防団の強化につなげていく。

(要望) 平成 29 年の道路交通法の改定に伴い、3.5t 以上のポンプ車を運転できない団員が増加することが予想される。機動力を確保するため、準中型免許取得を補助してほしい。



なかむら しげお
中村 重雄 議員

(Nextつくば)



自転車のまちつくばとしての取組

(質問) 自転車利用促進を目的に令和6年10月から本格運用が始まった「つくチャリ」のこれまでの利用状況と本格運用後の利用状況について伺う。

(答弁) つくチャリの利用状況については、令和3年度に50台で開始し、1年目は1万6,581件、2年目は2万5,525件、3年目は2万6,536件と増加した。令和6年10月からは100台に倍増させて本格運行を開始し、10月が4,086件、11月は4,335件の利用があり、サイクルポートも増設したことから、さらなる利用増が見込まれる。

(質問) 自転車走行レーンなどの整備や安全対策について伺う。

(答弁) 今後の自転車走行レーン整備や安全対策については、自転車活用推進計画に基づき、通行空間の整備や安全利用の広報啓発などを実施していく。

(質問) 本年4月に実施した「自転車用ヘルメット購入補助事業」について執行状況を伺う。

(答弁) 安全基準を満たした児童自転車用ヘルメットを購入した場合に、購入費用を最大2,000円補助する事業で、令和6年度は250人分の補助を予定し、8月に上限に達したため受付を終了した。

(要望) 自転車利用を促すのであればこうした補助事業については補正予算を組んで多くの方に利用していただけるように予算の増額を要望する。

このほか、市内商工業者への支援について質問した。



あおき しんや
青木 真矢 議員

(ワニナルつくば)



ふるさと納税について

(質問) 以下3点について伺う。①現状の受入額が停滞している理由について、市はどのように分析しているか②茨城県内で、10億円以上の受入額を集める市町村や、ここ数年で受入額が大きく増加している市町村と比較した場合、つくば市の課題は何か③今後の取り組みに関して

(答弁) ふるさと納税の受入額については、直近4年間の実績が2億円前後で推移しているが、これは人気のある返礼品の種類や供給量が限られているためである。県内の他市町村と比較した場合の市の課題については、受入額が10億円を超えたり、近年大きく増加したりしている市町村では、ビールや即席麺、家電製品などの工場で作られた返礼品が多く選ばれているのに対し、市内で研究開発されただけの品物は、ルール上、返礼品として提供するのが難しい点にある。今後の取り組みについては、引き続き返礼品の種類を増やしていくことなどに加えて、一度寄附を頂いた方に翌年以降も継続して寄附を頂くためのPRを推進する。



このほか、つくば市のメディア「FarmtoTableつくば」と「つくばクラフトライフ」に関してと、つくばコレクションについて質問した。



さかい いずみ
酒井 泉 議員

(新・つくば民主主義の会)

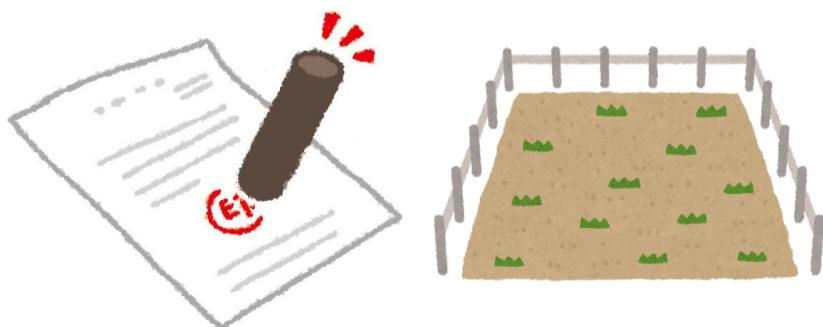


高エネ研南用地の売却契約の内容が不透明

(質問) 市長は、高エネ研南用地は土地開発公社のものであって市のものではないという理屈で、グッドマンジャパンとの契約内容を市民に公開していない。プロポーザル審査で選定した企業との契約は随意契約であるため、「便宜をはかる余地は全くない」というなら、選定過程と契約内容を全て公開すべきと考えるが、見解を伺う。

(答弁) 高エネ研南側用地は、UR都市機構との交渉や外部委員のみによる公正な審査を経て、適切に事業者を選定し、土地売買契約を締結している。売却を白紙に戻す考えはない。

(意見) 随意契約の内容が墨塗では市民が誰も納得しない。契約は白紙に戻して議会の承認が必要である。



このほか、つくば市の人件費と管理職比率、市長退職金の辞退、タウンミーティングは誰のためか、市報とかわら版、主要な都市計画道路の整備を8年間も放置していること、外部コンサルに業務を依存して市民の衆知を集めない市役所の問題について質問した。



さかきばら
榊原 アリーゼ 議員

(緑粋会)



保育士賃金引き上げ！子供達の未来を支えるために！！

(質問) 現状の賃金水準について。つくば市における保育士の平均賃金や他市町村と比較してどのような位置にあるのか伺う。また賃金引き上げの方針について伺う。保育士の賃金引き上げに関する方針や具体的な施策や今後の改善計画について賃金以外に、保育士が働きやすい環境を整えるための施策(労働時間の短縮、職場環境の整備など)についての考えを伺う。

(答弁) 民間保育園における保育士の平均賃金については、茨城県のデータによると、市内58園で令和4年度約328万円である。市内民間保育園における保育士平均賃金は、令和4年度公表データで県内41市町村中29位です。保育士の賃金は国の基準に基づいているが、市独自に月3万円の処遇改善助成金を支給しており、それを加えると、県内41市町村中6位となる。助成金は今後も継続する方針である。保育士の負担軽減策として、保育支援者を雇用した場合に支給する補助金や、1歳児の保育士配置支援事業費補助金の給付を実施している。また、事務負担軽減を図るため、保育給付費の管理システムを導入している。



このほか、救急車到着から病院まで1時間以上要した例がある件について、1時間以上要した理由について質問した。

委員会審査



総務文教分科会

〔議案第50号〕令和6年度つくば市一般会計補正予算(第6号)

〔質疑〕債務負担行為補正 総務費 令和6年度市内ネットワーク基盤整備備借および使用料の内容

〔答弁〕令和7年度に職員が使うパソコンの約1400台が入れ替える時期となり、これに合わせて庁内のネットワークを刷新する事業であり、現在、直接的にインターネットに接続できない職場環境になっているものを、インターネット接続系に移行する構成の変更も含まれている。

〔質疑〕インターネットに接続できるようになった場合のセキュリティ側面について

〔答弁〕総務省のガイドラインでもサイバー攻撃に対する対策や認証について、セキュリティを高めるようにされており、それに準じて構築していく。また、今回の事業の中に不正プログラム対策や24時間365日セキュリティ監視といったものも含まれている。

総務文教委員会

〔請願6第8号〕つくば市の小中学生の学校給食費無償化と地産・有機食材の拡充を求める請願書

▼審査結果 趣旨採択すべき

〔意見〕子育て世帯の方から、「給食費の無償化は本当に助かる」という声をたくさんいただいている。県内でも無償化が広がっているということは、それだけのニーズがあるということであり、議会としても市での実施を後押しする意味で、採択すべきと考える。

〔意見〕給食費の無償化をしてほしいという気持ちには賛同するが、世帯年収にかかわらず全ての世帯の給食費無償化を市の一般財源で賄うことが、市全体で考えた際に正しい形なのか疑問を持つ。給食に有機食材を取り入れることなど、ほかの施策にしわ寄せがくることも懸念されるので、趣旨採択を提案したい。

福祉保健分科会

〔議案第50号〕令和6年度つくば市一般会計補正予算(第6号)

〔質疑〕民生費 保育所管理に要する経費に関し、保育所フェンス工事設計委託の対象となる保育所と設計内容、今後のスケジュールについて

〔答弁〕新耐震基準を満たしている公立保育所14カ所が対象であり、高さ150センチ以上、隙間は11センチ以下とすることを原則としたつくば市立保育所におけるフェンス等の設置に関する安全基準に沿って、既存のフェンスなどの改修工事を設計するものである。令和7年1月から設計委託を開始し、設計を終えた保育所から順次工事発注の準備を進め、設計終了予定の6月から施工が容易な保育所から順に工事を行い、令和7年度中には全て終了する予定である。

福祉保健委員会

〔議案第60号〕つくば市介護保険条例の一部を改正する条例について

▼審査結果 可決すべき

〔質疑〕主任ケアマネジャー、保健師、社会福祉士のいずれかが不足している地域包括支援センターがある場合に、改正により、3職種について、他センターも兼任できるようにするのか、また、つくば市での実施が可能か

〔答弁〕制度上は他センターも兼任できるようにしたが、つくば市では6つの地域包括支援センターの運営を全て異なる法人に委託しており、実際の運用は他自治体の状況を見て検討していく。

市民経済分科会

〔議案第50号〕令和6年度つくば市一般会計補正予算(第6号)

〔意見〕文化芸術創造拠点整備について、廃校跡地の利用ということで、審議会を立ち上げて様々な議論してきた中でいよいよ大詰めになってきた。様々なニーズを聞き、よりよい施設にしてほしい。

〔意見〕つくば市中小企業等海外販路拡大支援事業について、市内の事業者が、様々なところに販路を拡大していくような支援を続けてほしい。

〔意見〕農地中間管理事業について、農業分野では高齢化が進んでおり、若い方が農業参入できるように形づくりが進むように今後ともお願いしたい。

市民経済委員会

〔議案第70号〕工事請負契約の締結について

▼審査結果 可決すべき

〔質疑〕工事内容は建築、電気設備、空調設備、火葬炉設備、上下水道設備であるが、JVでの一括発注ではなく分割発注という考え方はなかったのか

〔答弁〕本工事は令和5年に設計を行っており、設計の検討をする

中で、一括発注のほうがメリツトが多いということで一括発注を選択した。

〔質疑〕メモリアルホール利用者から喫煙所の緩和について多くの意見が寄せられているが、式場内・全ての棟・駐車場・敷地内は禁煙となっているのか

〔答弁〕建物内・敷地内全面禁煙となっている。

〔意見〕この工事に関し火葬炉設備工事以外については市内事業者でも十分できるものと考え、JVは非常に有効であると考え、こういった改修工事では、地場産業育成の観点から、分割発注や随意契約も含め、よりよい環境づくりを進めてほしい。

〔意見〕施設には喫煙所がなく、敷地外でない喫煙できず、利用者は我慢している状況である。こういった計画においては検討に入れてもらいたい。

都市建設分科会

〔議案第50号〕令和6年度つくば市一般会計補正予算(第6号)

〔質疑〕緑越明許費補正 土木費 に関し、埋蔵文化財発掘調査委託の廃止理由について

〔答弁〕令和6年9月12日開札の案件で起工したが、応札者がなかつたため中止となった。再度入札を行っても履行期間が16カ月であるため、令和7年度中の完了ができず、緑越明許費では対応できないため、減額するものがある。

〔質疑〕債務負担行為補正 土木費 に関し、令和6年度雨水排水施設維持管理業務委託の内容について

〔答弁〕雨水排水施設である森の里などのポンプ場の維持管理などの委託であり、道路冠水を防ぐために道路排水施設の点検や清掃および異常時の緊急対応を実施するためのものである。

都市建設委員会

〔議案第63号〕つくば市自転車等駐車場条例の一部を改正する条例について

▼審査結果 可決すべき

〔質疑〕これまでのTX各駅の自転車駐車場の運営の経緯について

〔答弁〕つくば駅の自転車駐車場は、市有地において有料で運営していたが、研究学園、万博記念公園およびみどりの駅においては、利便性の向上などを目的として、TX開業当初に市がTXから高架下の土地を賃借し無料で自転車駐車場の管理運営を行っていた。

【議案第50号】修正案と原案の比較

	修正案	原案
修正内容	商工費 産業用地の検討に要する経費 埋蔵文化財試掘・確認調査業務委託料 757万1,000円削除	—
提出者	川村 直子 委員 川田 青星 委員 あさのえくこ委員 小森谷 さやか 委員	市長
委員会審査結果	可決	修正可決
採決結果	可決	修正可決

修正案への賛成討論 今回の予算は産業用地の確保を進めるためのものでなく、試掘を進めるための予算になっている。どこかの土地を掘るのかわからない状態で審議することは不可能と考え、修正案に賛成する。

修正案への反対討論 つくば市で新たな産業用地を確保することは、雇用税収や地域経済への波及効果など、持続可能な自治体になるため不可欠だと考える。候補地を検討する中で、埋蔵文化財を調査し、正確な情報を把握することは大変重要である。予算の修正により、埋蔵文化財の試掘または確認調査が早期にできず、事業の進捗に支障を来すため、修正案に反対する。

予算決算委員会

【議案第50号】令和6年度つくば市一般会計補正予算(第6号)

▼審査結果▶修正可決すべき

議案等審議



議案など詳細

【議案第50号】令和6年度つくば市一般会計補正予算(第6号)

修正可決

修正案への反対討論

つくば市

に新たな産業用地を確保することは、地域雇用の創出および持続的な税収確保のため不可欠だ。産業用地の候補地を検討する場合、埋蔵文化財の調査は候補地での事業化を判断する上で大変重要な要件となり、できるだけ早期の調査が必要である。予算を修正した場合、埋蔵文化財試掘確認調査が早期にできず、事業化に支障を来すため、修正案に反対する。また、原案には市民生活に不可欠な公共施設などの電気料金や学校給食の食材費、物価高騰などに対応する予算のほか、新年度に市民サービスを滞りなく継続実施するための債務負担行為が含まれる。いずれも、次年度以降の市民生活の維持向上にも不可欠な予算であり、原案に賛成する。

【請願6第8号】つくば市の小中学生の学校給食費無償化と地場産・有機食材の拡充を求める請願書

趣旨採択

【趣旨採択に反対の討論】令和5年12月定例会にも同趣旨の請願が届けられ、趣旨採択となった。学校給食費無償化は、多くの市民の強い願いである。県内では21自治体にまで広がっており、子育て世帯の直接支援として一般的な施策となっている。物価高で生活が大変なときに、給食費無償化は大きな助けとなる。

【修正案への賛成討論】この修正案は、産業用地の検討に要する経費の埋蔵文化財試掘確認調査業務委託料757万1千円を削除するものである。産業用地の候補地は令和5年度の調査で評価が高い4カ所であり、最終的に最も高評価の場所で文化財の試掘調査を行うが、現在は1カ所と決定していないため、地元地権者へ意向調査や説明をしておらず、決定後に意向調査や説明を行うとのことだ。大規模な開発を考へる際は、まず地権者へ説明し同意を得ることが不可欠であり、正しい順序である。今回は正しい順序でなく、試掘場所が不明であり、賛成は難しいと考える。なお、補正予算のほかに項目には反対するものではなく、試掘調査の予算を除いた議案第50号の予算には賛成する。

る。つくば市は毎年決算で20億円前後の剰余金が出ており、それを基金に積んできた。本来税金は年度内に市民に最大限還元するのが地方財政の原則だが、それに反している。給食費の無償化は、どの自治体でも予算の僅か1%で実施することができ。本来国がやるものだが、どの自治体も予算をやりくりしながら給食費無償化を実施しており、つくば市でも十分可能である。議会は令和5年に続き出された請願に応えるべきだ。趣旨採択について地方議会用語辞典では、あくまで便宜的な処理方法であって、乱用してはならない、このような曖昧な方法を取らないとするなら採択または不採択とすればよいと明記している。

【趣旨採択に反対の討論】小中学生の学校給食費無償化に趣旨としては賛成する。就学援助受給世帯などへの支援や物価高騰による賄い材料費不足への対応は既に先行されている。しかし、全ての給食費の無償化には恒久的に多額の財源が必要ことから、国が責任を持って財政措置すべきと考える。地場産・有機食材拡充については、地産地消推進費の増額や全国オーガニック協議会に参加するなど、給食でのさらなる活用を進めていることから、趣旨採択に賛成する。

傍聴のご案内

つくば市議会の本会議と委員会は公開されており、誰でも傍聴することができます。議会の傍聴にぜひお越しください。



- 発言内容表示ディスプレイを傍聴席の右側前方に設置しています。
- 手話通訳・要約筆記をご希望の方は傍聴予定日の7日前までに議会局へお申し込みください。



傍聴についてのご相談は議会局にご連絡ください。

議会局 議会総務課
電話 029-883-1111 (内線 6111・6113)
FAX 029-868-7635



傍聴の案内

議会中継録画配信



配信ページ



- 本会議(定例会議・緊急会議)の開催時間は生中継をご覧ください。
- 本会議や委員会などの、各開催日の3日後(休日を除く)以降から録画映像を視聴することができます。

広報広聴委員

委員長	川久保 皆実	委員	小村 政文
副委員長	青木 真矢	委員	中村 重雄
委員	川田 青星	委員	山中 真弓
委員	梅沢 尊信	委員	小森谷 さやか

○つくば市議会議員政治倫理条例の規定に基づき2名の議員から辞退届が提出されました。

- ・市原 琢己
 - ・梅沢 尊信(有限会社梅沢塗装工業)
- 同条第15条第1項:議員若しくはその配偶者、1親等の親族若しくは同居の親族(以下「議員関係者」という。)又は議員が役員をしている企業若しくは実質的に経営に携わる企業(以下「議員関係企業」という。)は、地方自治法(昭和22年法律第67号)第92条の2の規定を尊重し、市及び市が関係する団体が行う工事の請負契約(当該工事の請負契約の下請工事を含む。)、業務委託契約及び物品納入契約を辞退し、市民に疑惑の念を生じさせないよう努めなければならない。
- 同条第2項:議員、議員関係者又は議員関係企業が前項の規定による辞退をするときは、議長に辞退届を提出するものとする。この場合において、議員関係者又は議員関係企業は、関係する議員を通じて辞退届を提出するものとする。

令和 6 年第 2 回定例会 12 月定例会議案等議決結果一覧

報告案件	案件名	議決結果
【報告第 38 号】 専決処分事項の報告について	【議案第 65 号】 つくば市立図書館条例の全部改正について	原案可決
【報告第 39 号】 専決処分事項の報告について	【議案第 66 号】 外国の地方公共団体の機関等に派遣される職員の処遇等に関する条例について	原案可決
【報告第 40 号】 専決処分事項の報告について	【議案第 67 号】 市道路線の認定について	原案可決
【報告第 41 号】 専決処分事項の報告について	【議案第 68 号】 市道路線の廃止について	原案可決
【報告第 42 号】 専決処分事項の報告について	【議案第 69 号】 市道路線の変更について	原案可決
【報告第 43 号】 専決処分事項の報告について	【議案第 70 号】 工事請負契約の締結について	原案可決
【報告第 44 号】 専決処分事項の報告について	【議案第 71 号】 財産の無償譲渡について	原案可決
【報告第 45 号】 専決処分事項の報告について	【議案第 72 号】 つくば市教育委員会委員の任命について	同意
【報告第 46 号】 専決処分事項の報告について	【議案第 73 号】 つくば市教育委員会委員の任命について	同意
	【議案第 74 号】 つくば市監査委員の選任について	同意
	【議案第 75 号】 つくば市監査委員の選任について	同意
	【議案第 76 号】 令和 6 年度つくば市一般会計補正予算 (第 7 号)	原案可決
	【議案第 77 号】 令和 6 年度つくば市水道事業会計補正予算 (第 3 号)	原案可決
	【議案第 78 号】 令和 6 年度つくば市下水道事業会計補正予算 (第 2 号)	原案可決
	委員会提出議案	議決結果
	【議案第 50 号】 令和 6 年度つくば市一般会計補正予算 (第 6 号) に対する予算決算委員会からの修正案	可決
	請 願	議決結果
	【請願第 8 号】 つくば市の小中学生の学校給食費無償化と地場産・有機食材の拡充を求める請願書	趣旨採択
	意 見 書	議決結果
	意見書案第 5 号 国による学校給食費無償化の早期実現を求める意見書	原案可決
	意見書案第 6 号 北朝鮮による日本人拉致問題の早期解決に関する意見書	原案可決
	※以下の請願は審査を継続することになりました。	
	【請願第 9 号】 つくば市生活保護業務の適正化を求める請願書	



議案の審議
状況と
議決結果



請願
一覧



意見書・
議決一覧

詳細は QR コード参照

令和 6 年第 2 回定例会 12 月定例会議議員賛否一覧

議案等番号	つくばクラブ								Next つくば							つくば・市民ネットワーク				公明党 つくば			緑	ワ	新	つ	日	創	
	伊藤文弥	小村政文	黒田健祐 議長	神谷大蔵	小久保貴史	五頭泰誠	木村清隆	塩田尚	田代優	市原琢己	樋口裕大	中村重雄	木村修寿	塚本洋二	飯岡宏之	川田青星	川村直子	あさのえくこ	小森谷さやか	梅沢尊信	篠内幸代	渡辺峰子	榎原アリーゼ	青木真矢	酒井泉	川久保皆実	山中真弓	高野文男	
認定第 50 号	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
認定第 50 号に対する 予算決算委員会からの修正案	×	×	-	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	×	○	×	○	×	×
認定第 50 号の修正部分 を除く原案	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 60 号	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○
議案第 61 号	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○
議案第 64 号	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○
議案第 70 号	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	除	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 75 号	○	○	-	○	○	除	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第 8 号	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○

※ 「○」は賛成、「×」は反対、「退」は退席、「欠」は欠席、「除」は除斥。議長は可否同数の場合または特別多数議決の場合以外は表決に加わらない。
 ※ 会派名(議席番号順) 緑=緑粋会 ワ=ワニナルつくば 新=新・つくば民主主義の会 つ=つくばチェンジチャレンジ
 日=日本共産党つくば 創=創生クラブ
 ※ 議決日に欠席した議員 なし

令和6年第1回定例会
11月緊急会議議案等議決結果一覧

報告案件		議決結果
【報告第35号】	専決処分事項の報告について	
【報告第36号】	専決処分事項の報告について	
【報告第37号】	専決処分事項の報告について	
案件名		議決結果
【議案第47号】	令和6年度つくば市一般会計補正予算(第1号)	原案可決
【議案第49号】	つくば市アフタースクール事業実施条例について	原案可決
委員会提出議案		議決結果
委第6号議案	つくば市議会委員会条例の一部を改正する条例について	原案可決
決議		議決結果
決議第1号	「地方自治」の実践に向け、議会活性化を推進する決議	原案可決

※以下の議案1件は、撤回されました。
【議案第48号】つくば市アフタースクール事業実施条例について

令和6年第1回定例会
11月緊急会議

令和6年11月8日、22日に開催し、議案4件、決議案1件を審議しました。

【議案第49号】つくば市アフタースクール事業実施条例について

原案可決

賛成討論 遊びは子どもにとってなくてはならないものだが、今の日本では、遊びの空間、時間、仲間が非常に少なく、さまざまな課題を引き起こしている。遊びの環境整備は喫緊の課題である。この事業は、こういった遊びの場が提供されるモデル事業として大変期待している。一方、利用に月3千円が発生することで、放課後、友達と遊びたくても利用できない子、できない子が発生してしまう。市内全体を見回しても、無料の児童館や放課後子ども教室など、保護者の就労に関係なく無料で遊べる

場が展開されている。こういったほかの形態との整合性という意味でも、利用料に関しては、今後、無料化などの検討をお願いしたい。アフタースクールで習い事ばかりで授業の延長のようにならないよう、遊びの時間や、ゆとり過ごす場の確保をしっかりと担保できるように運営上での注意もお願いしたい。つくば市として初めての地域との交流や連携を図りながら、希望する児童に対し、放課後に安全かつ安心な環境で自主的にさまざまな活動を体験できる居場所を提供し、児童の健全な心身の成長を図ることを目的とした放課後アフタースクール事業に賛成する。



議案の審議状況と議決結果

令和6年第1回定例会11月緊急会議議員賛否一覧

議案等番号	つくば自民党・創生クラブ					自民政清クラブ					つくば・市民ネットワーク			公明党つくば		日本共産党つくば市議団		つ	緑	清	山	社				
	小村 政文	高野 文男	長塚 俊宏	黒田 健祐	神谷 大蔵	小久保 貴史	五頭 泰誠 議長	久保谷 孝夫	宮本 達也	木村 修寿	塚本 洋二	飯岡 宏之	鈴木 富士雄	川村 直子	あさの えくこ	小森谷 さやか	皆川 幸枝						浜中 勝美	小野 泰宏	山中 真弓	橋本 佳子
議案第47号	○	○	○	○	○	○	欠	欠	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第48号	○	○	○	○	○	○	欠	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第49号	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
委第6号議案	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
決議第1号	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※「○」は賛成、「×」は反対、「欠」は欠席。議長は可否同数の場合または特別多数議決の場合以外は表決に加わらない。
※ 会派名(議席番号順) つ=つくばチェンジチャレンジ 緑=新緑会 清=清郷会 山=山中八策の会 社=新社会党つくば
※ 議決日に欠席した議員 11月8日 宮本 達也 議員 木村 修寿 議員 久保谷 孝夫 議員
11月22日 久保谷 孝夫 議員

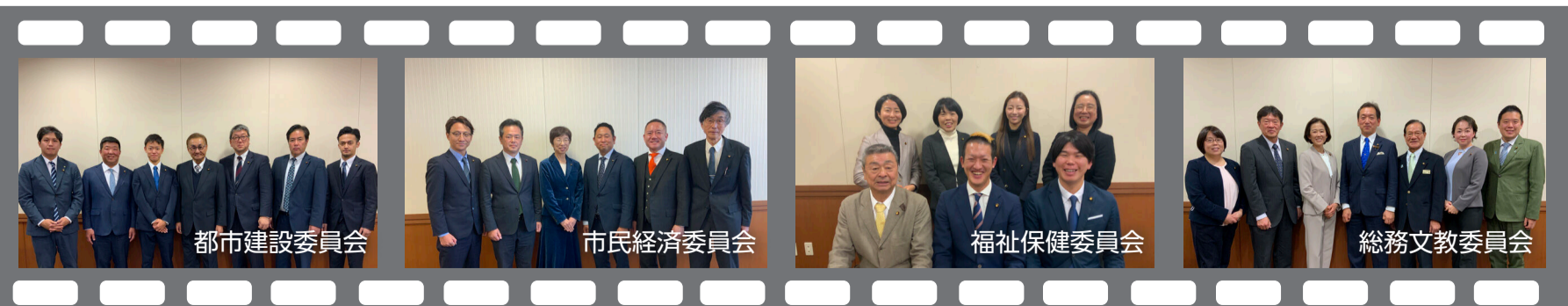


議会報告会動画はこちらから!

つくば市議会
YouTube
チャンネル

令和7年(2025年)1月17日に令和6年度議会報告会の動画を公開しました。内容は「令和5年度決算審査に係る提言」の内容についてです。ぜひご覧ください。

動画配信中!



つくば市議会クイズ

知っているようで知らない議会のコト。あなたはいくつ知っていますか？

1 つくば市議会議員の定数は何人でしょう？

- (1) 18 人 (2) 28 人 (3) 38 人



2 2024 年 10 月 27 日につくば市議会議員選挙が行われました。この選挙には何人の立候補者がいたでしょう？

- (1) 26 人 (2) 36 人 (3) 46 人

3 今回の選挙で当選した議員のうち、新人は何人いるでしょう？

- (1) 1 人 (2) 11 人 (3) 21 人

4 現在、つくば市議会に女性議員は何人いるでしょう？

- (1) 8 人 (2) 16 人 (3) 24 人

5 つくば市議会はつくば市役所の建物内にあります。では市役所のどこにあるでしょう？

- (1) 地下 1 階 (2) 6 階 (3) コミュニティ棟 3 階

6 現在のつくば市議会議員の平均年齢はおおよそ何歳でしょう？ (2024 年 10 月 27 日時点の年齢)

- (1) 25 歳 (2) 48 歳 (3) 75 歳

7 つくば市議会議員の任期は何年でしょう？

- (1) 3 年 (2) 4 年 (3) 5 年

8 つくば市議会では会議の様子を録画放映しています。中にはライブ配信を行っているものもあります。それは次のうちどれでしょう？

- (1) 議会運営委員会 (2) 広報広聴委員会
(3) 本会議

9 つくば市では 5 つの常任委員会があり、本会議で付託された議案や請願を審査するとともに、委員会独自の所管事務の調査を行います。次の 6 つの委員会のうち、常任委員会ではないものはどれでしょう？

- (1) 総務文教 (2) 福祉保健 (3) 都市建設
(4) 広報広聴 (5) 市民経済 (6) 予算決算

10 議会に出された議案は原則、議長を除く全議員の多数決によって議決しますが、まれに体調不良や退席等の理由により、賛成・反対が同数となることがあります。その場合の議決方法として正しいのは次のうちどれでしょう？

- (1) じゃんけん (2) くじ引き (3) 議長裁決

答えはこちら！ ↓



答え 1 (2) 2 (3) 3 (2) 4 (1) 5 (2) 6 (2) 7 (2) 8 (3) 9 (4) 10 (3)

- 0～5 問 …… 少し難しかったかもしれませんね。ぜひ一度市議会を傍聴しに来てください！
- 6～9 問 …… 惜しい！ 市議会を傍聴して、議場の雰囲気を感じてください！
- 10 問 …… 議員になれるかも？ 市議会を傍聴し、議員になった時の予習をしましょう！

行こう！
議会傍聴！

市議会だより改善アイデアを募集中です！
投稿はこちらから！



○令和 6 年 (2024 年) 12 月 1 日発行のつくば市議会だより第 183 号の一部に誤りがありましたので、お詫び申し上げますとともに、次のとおり訂正いたします。

修正箇所

10 ページ 議案等審議 請願 6 第 6 号 反対討論および賛成討論のアイコンの位置

(正) 賛成討論 ← (誤) 反対討論

(正) 反対討論 ← (誤) 賛成討論